

地域交通における新たな取組

R3当初2.8億円

◆コロナ時代に対応した公共交通変革事業

- ・キャッシュレス化の実証試験、交通データの標準化・オープン化など「革新的統合移動サービス(MaaS)」の推進
- ・施設の一部を活用するバス待合所整備への支援、ルデ運動の全県展開 など

マース

◆地域交通体系鳥取モデル構築事業

- ・共助交通サポート組織の立上げを支援
- ・A Iなどの新技術や定額サービス(サブスクリプション)を活用したMaaSの導入を支援

MaaSの推進

QR決済等
キャッシュレス
の推進



交通手段同士を統合



AIオンデマンド
システムや定額
制運賃の活用



+

移動と目的をセット化

交通以外

バスの乗換検索
がさらに便利に



待合環境
の整備



時刻表サイネージ

共助交通のサポート強化

複数の共助交通の運行管理業務を
一括してサポート



ドライバーは地元住民が担う

運行管理業務等をサポート

共助交通サポート
組織 (NPO等)

※官民連携による「MaaS協議会」を設置し、まちづくりと交通のあり方、抜本的な路線再編等を検討